

様式 16 情勢報告（各月の動き毎月 25 日までに報告）
情勢報告（平成 26 年 1 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

龍王宮農組合総会



1月16日、梶原町茶や谷集会所において19名の組合員が参加し、梶原町で2番目に設立された集落営農組織「龍王宮農組合」の初年度の総会が開催されました。

同組合は、平成25年度の県農業創造セミナーに参加をして、米の精米受託と販売の検討や、地域資源であるふきの加工（奈良漬け）に取り組んできました。特に、ふきの奈良漬けでは地元農家を講師に招き講習会や試食会を行いました。

総会では振興センターが受託の見込みや加工原価及び各料金設定など初年度の活動にかかる報告をしました。組合員からは「数値化され内容が具体的に良く伝わった。」との声が聞かれました。

津野山地域営農連絡協議会全体会



津野山地域営農連絡協議会全体会が1月16日、JA津野山営農センター「輝」において開催されました。

農協、梶原町、津野町、農業振興センターで組織するこの協議会は、JA津野山管内の農業振興を図ることを目的としており、協議会役員の出席の中、全体会では、平成25年度実績等の報告及び、産地振興方向並びに平成26年度の活動計画について協議を行いました。

農業振興センターでは、全体会の総意に基づき、協議会プロジェクトチーム会で実績のとりまとめや次年度計画の作成などを進めてまいります。

新規就農者 農業基礎講座（第二回）



就農して間もない農業者を対象に、農業の基礎知識の習得を図るJA土佐くろしお管内の「新規就農者農業基礎講座」の第二回講習会を1月17日に開催し、就農5年以内の新規就農者22人が参加しました。

テーマは「農業経営」で、振興センターが経営目標の考え方や、家計費も含めた記録の必要性など、農業経営者として意識すべき事について講習を行いました。

この基礎講座は来年度も開催する予定で、講習会のほか、現地での研修実施を検討しています。

JA土佐くろしおミョウガ部会現地検討会（土耕）



JA土佐くろしおミョウガ部会の土耕現地検討会が、11名の生産者の参加を得て、1月14日に開催されました。

振興センターからは、収量向上のポイントを3つ整理して説明しました。特に、ハウス内環境を適切に制御すること、pFメーターを用いたかん水管理については、活発な意見交換が行われました。

今後は、2～3月に第2回目の現地検討会を開催し、今年の実証ほの取り組みや、栽培改善方策を検討する予定にしています。